

平成23年度第1回日進市地域公共交通会議 議事録

1. 開催日時

平成24年2月1日（水曜日）午後1時30分から

2. 開催場所

日進市役所 本庁舎2階 第4会議室

3. 出席委員

小塚 みね子 （市民モニター）
石川 和美 （市民モニター）
松岡 坂重 （子ども会連絡協議会）
三輪 洋子 （地域女性団体連絡協議会）
水野 利子 （障害者団体連絡会）
竹下 啓 （NPO法人 にっしん市民環境ネット）
大竹 弘眞 （商工会）
松本 幸正 （名城大学教授）
都築 基雄 （前市内巡回バス検討委員）
仲 龍典 （前市内巡回バス検討委員）
上野 寿之 （愛知県バス協会、代理出席）
永山 明光 （名古屋タクシー協会）
加藤 直樹 （名鉄バス株式会社運輸部運輸課）
西尾 和晴 （国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）
西山 和弘 （愛知県尾張建設事務所維持管理課、代理出席）
森島 哲也 （愛知県地域振興部交通対策課、代理出席）
青山 雅道 （日進市企画部長）
原田 直行 （日進市建設経済部担当部長）

欠席委員4名

4. 事務局

日進市生活安全課

5. 会議次第

1 開会

2 市長あいさつ

3 会長・副会長等の選出

4 会長あいさつ

5 議事

【報告案件】

- (1) くるりんばすを取り巻く状況の変化について
- (2) くるりんばすの現状と隣接市町の動向について
- (3) 現在の運行状況の点検・評価について
- (4) 個別課題の対応について

6 その他

- (1) 東郷町巡回バス「じゅんかい君」の改編について
- (2) 幹線バス路線「星ヶ丘・豊田線系統」の新設について
- (3) “リニモのがたり”の活動報告

『リニモ沿線地域づくり活動推進事業』

説明者：名城大学を中心とする学生グループ

7 閉会

6. 議事録

<午後1時30分 開会>

事務局

開会に先立ちまして、本日までご出席の皆様におかれましては過日、委員についてご承諾若しくは各団体の代表者様からご推薦をいただき、平成23年10月2日から平成25年10月1日までの任期で委嘱させていただくことになりました。委嘱状は去る11月4日に送付させていただきました。2年の任期となりますが、どうかよろしくお願いたします。

本日の出席者は、委員22人中18人です。日進市地域公共交通会議設置要綱第6条に規定する、会議の開催に必要な2分の1以上の出席を頂いていることをご報告します。

会議の公開について、委員委嘱はさせていただいているものの、会長はまだ選出されていませんので、事務局より委員の皆様にお伺いします。今回の議題は、特に個人情報とか、個人の利害に関わる内容は含まれておりませんので公開とさせていただきたいと存じます。よろしいでしょうか。(委員より異議なしの声あり)

では、公開とさせていただきます。なお、本日は、その他(3)に「リニモのがり」の報告があり、名城大学の学生にも同席させていただいています。

続きまして、日進市長萩野幸三から委員の皆様にご挨拶申し上げます。

市長

皆様、こんにちは。今年一番の寒い日になり、雪降りがあっても足の確保は大丈夫かと、まさに公共交通会議をやるにふさわしい日になりました。

先ほど事務局からお話がありましたが、2年間にわたって皆様方にご指導いただくにあたり、日進市のくるりんばすを市民の皆様の足として、適切かつ有効に運行していただきたいと存じます。

くるりんばすのあり方については、乗っていただく皆様方からも貴重なご意見をいただいているわけですが、なにせ、お金との問題もありますので、利用者の利便性が第一で、対費用効果のことも検証しながら、最大限有効活用できるよう、皆様のお知恵を拝借したいと存じます。

そしてまた、今日は名城大学のリニモのお手伝いをしている関係者もいらっしやっているようですが、他の公共交通との連携、長久手市のN-バスであるとか、東郷町のじゅんかい君との連携も大切だと思います。そうした皆さんとも調整できるようにしながら、地域の公共交通として、くるりんばすを多くの皆様にかわいがっていただき、役立てていきたいと存じます。ぜひ、皆様方にはすばらしいくるりんばすになるようご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願申し上げます。

事務局

市長は他の公務のため、ここで退席させていただきます。

今回、初めて参加されている委員もいらっしやいますので、本会議につきまして、少しご説明申し上げます。本会議は道路運送法の規定に基づき、市民生活に必要なバス等の旅客運送の確保やその他地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議していただくものです。

次に、会長をお決めいただきたいと思います。ご推薦をいただけますとありがたい

のですが。特にお声がないようですので、事務局から皆さまにお伺いさせていただきます。これまで多大なるご尽力を賜り、なお且つ、前の任期中に会長をお勤めいただきました、名城大学理工学部教授の松本委員に引き続きお願いしたいと思います。(委員より異議なしの声と拍手)

それでは、会長を松本委員にお願いすることといたします。一言ごあいさつをお願いします。

会長

ご指名いただきました、名城大学の松本です。よろしくお願いいたします。引続き、会長を、大変重い職であります。務めさせていただきたいと思っております。皆様のご協力を得ながら、先ほど萩野市長も言っておられましたが、くるりんばすを有効に、対費用効果のことも含めて、検討していきたいと思っております。

この地域公共交通会議の役割について簡単に申しますと、地域にふさわしいバスであるとか、乗り合いタクシー等を地域で考えて走らせることができる仕組みと考えていただければと思っております。したがって、現状のくるりんばすですが、これも過去の地域公共交通会議の中で決めて、運行に至っているわけでありまして。すばらしい仕組みであると、私は思いますが、一方で責任が伴うということだと思っております。したがって、現状のくるりんばすに対し、いろいろ、不具合とは申しませんが、なにかあった場合は、実は我々の責任ということになります。ですが、ご安心ください、地域公共交通会議の仕組みでは、それを修正できます。時刻表がまずいとか、経路がまずいとかあれば、またここでご議論いただいて、修正できるということでございます。すなわち、利用者の声を聞きながら、利用実態を見ながら、直す必要があれば直すことができる、ここが非常に重要なところかな、と思っております。

我々の分野では良く言われるのですが、PDCA、つまり、プラン、ドゥ、チェック、アクトのサイクルをまわしていこうということですが、一番重要なのが、チェックです。日本語でチェックというと嫌な響きですが、まあ、点検かなと思っております。ちゃんと動いているか、皆さんに喜ばれているかということを確認しましょう。これをもとに、次にどう改善するか見ていこうというものです。今回、この一年についてご報告いただき、我々の考えたくるりんばすがどのように利用されているかというのをしっかり評価・点検していただいて、これからどうするか皆様にご検討いただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

議事に入りたいと存じます。議事進行する議長は設置要綱の第6条で会長が執り行うこととしております。松本会長よろしくお願いいたします。

会長

それでは、私のほうで議長を務めさせていただきます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、本日の議事録の署名につきまして、名簿順で今回は小塚委員と石川委員をお願いします。

続きまして、副会長並びに部会長及び副部会長の指名についてお諮りします。副会長並びに部会長は、要綱第5条第2項及び第8条第2項により、会長が指名することとなっております。大変僭越ながら、私から指名させていただきます。前回の任期から引き続き、副会長には仲委員と都築委員、そして部会長に仲委員を、副部会長には都築委員をお願いしたいと思っております。いかがでしょうか。(委員より異議なしの声あり)

ありがとうございます。では、そのようにさせていただきたいと思います。せっかくですので、一言ずつご挨拶をいただきたいと思います。

委員

今回は、まわってこないだろうと思っておりました。個人的ではありますが、今年が辰年で、私は84歳になります。そろそろ引退ということも考えておりますけれども、この2年間は頑張りたいと思います。くるりんばすも定着したようですが、私のライフワークとして、これからもずっと関わっていきたいと思います。

くるりんばすは地域にとって、とくに高齢者にとって欠かせないものと思います。私の住んでいる地域は40パーセントが高齢者と言われており、地域に密着したくるりんばすとして捉えていきたいと思います。今後2年間、老体に鞭打って頑張っていきたいと思う次第です。

委員

私はくるりんばすをこよなく愛しておりまして、いままで発展してきたことを非常にうれしく思います。これからもくるりんばすが発展していきますよう、精一杯頑張っていきますので、皆様どうかご協力を、皆様と一緒に頑張っていきたいと思います。

会長

どうぞよろしく願いいたします。

また、今回新しく委員となられた方からも、ご挨拶いただきたいと思います。

委員

利用者の代表ということで、この会議には3回ほど出ています。市長が言われたように、お金の問題もありますので、くるりんばすには市民の意見が反映されていない部分がまだまだあるかと思います。生意気なことを言ってすみませんが、市民の、利用者の目線ということで、よろしく願いします。

委員

皆様のお役に立てるのかどうか分かりませんが、よろしく願いいたします。

委員

常々、くるりんばすの運行事業者として、皆様にはお世話になっています。少しでも皆様のお役に立てるよう努力してまいりたいと思います。

委員

国土交通省の出先機関でございます。よろしく願いします。

委員

愛知県の中の交通を担当しております。

会長

それでは、議事に入ります。報告案件（1）くるりんばすを取り巻く状況の変化についてと、（2）くるりんばすの現状と隣接市町の動向について、関連がありますので一括して事務局からご説明をお願いします。

事務局

報告案件の(1)くるりんばすを取り巻く状況の変化について、ということでご説明をいたします。まず、人口及び高齢者人口割合の推移ということですが、大幅な見直しを行った平成21年と比較して、総人口は増加傾向にあると同時に、高齢者人口割合も増加傾向にあります。米野木町、赤池町、藤枝町、赤池、赤池南、岩崎町、野方町における人口は平成21年比で5%以上増加しており、他地域と比較して増加幅が大きいということです。また、平成23年の高齢者人口割合が30%を超えている地域は、蟹甲町、南ヶ丘、東山となっており、高齢者人口割合が平成21年比で1パーセント以上増加している地域は、本郷町、岩籐町、五色園、梅森台、東山、藤塚となっています。

次に、施設立地状況をご説明します。平成21年度以降、大型スーパーが5店舗市内でオープンしています。さらに、愛知学院大学が、2014年に名古屋市内に一部移行ということで、新キャンパスを開校予定ということが、過日新聞報道でありました。また、市内の竹の山地区に新設校として、日進市立竹の山小学校、日進市立北中学校が開校予定です。さらに、傍に障害者支援拠点が今後開設予定であります。

続いて、道路整備状況について、平成21年以降、バスが通れるような道路で、生活道路は除いて、どのような道路ができたが申し上げます。まず、日進市岩崎台と長久手市長湫間を結ぶ都市計画道路香久山線が、平成23年3月30日に全線供用開始しています。また、都市計画道路東山岩籐線の一部区間が平成21年10月16日に供用開始しております。この影響で、「岩崎橋東」バス停が再度設置されたということがございました。

次に、報告案件(2)くるりんばすの現状と隣接市町の動向について、ご説明いたします。まず、くるりんばすの現状ということで、4月から12月までの9ヶ月間についての集計をご報告申し上げます。くるりんばすの利用者数は、平成20年度まで増加傾向にありましたが、近年は横ばい傾向にあります。平成23年度の全コース利用者数を、月別に対前年同月比で見えますと、6月、8月、11月は対前年比で増加するものの、他の月では減少しています。こちらは、7コースでも同様の結果となっています。ただし、中央線の利用者数推移については、8月、10月、11月は対前年比で増加するものの、他の月では減少、若しくは同率という少し違った結果となっています。

一方、収入について申し上げますと、こちらは逆に全コース収入で、4月、7月、9月を除く6ヶ月は対前年比で増加しています。7コースでも、全コース計と同様に増加している状況です。中央線の料金収入については、5月を除く8ヶ月は対前年比で増加しています。

次に、日進市と隣接する市町が、21年度から今まで、いわゆるコミュニティバスの運行形態をどのように変遷させていっているのかご報告いたします。また、24年度の予定で、現時点で公表できるものについてもご報告いたします。

まず、特記事項ですが、平成21年度には、日進市で、西・中・南コースで双方向運行を開始し、中央線の運行を開始しています。長久手市は、同じ時期に、朝夕便の運行を開始しています。あとは、双方向運行の実施や、増便をしています。みよし市は、市内を南北2路線で結び、これは路線あたり2台のバスということで、計4台の車両を使って運行をしています。

続きまして、平成22年度では、東郷町が、北コース・東コースの土日祝日の運行ダイヤを3便増便し、平日と同じダイヤで運行開始しています。

今年度ですが、日進市では、ICカード乗車券マナカでの運賃支払いが開始してい

ます。こちらは長久手市も同様です。長久手市はそれと同時に1台増車し、路線の一部双方向化をし、朝夕便を昼間帯へ統合ということを行っています。みよし市では、平成23年度にバス車両を2台購入しております。それを使って、24年度になりますが、2路線を各3台のバスで、計6台のバスで運行開始予定です。また、東郷町ですが、後ほど詳しくご説明させていただきますが、従来から大幅に変更しまして、平成24年度7月1日から運行開始を予定されています。

以降、路線の系統、運行日、一日運行回数、運賃のご案内がございます。運行日については、みよし市のみが年中無休となっており、ほかは年末年始を除く毎日運行となっており、運賃は、近隣市町でおおむね一乗車100円となっています。

最後に、運賃特例、つまり、どのような方が無料対象者になっているかということについて申し上げます。日進市は、市内在住の中学生以下の子ども、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者及びその付き添い1名、介護保険法による介護認定を受けている者及びその付き添い1名となっています。長久手市は、それに加えて、就学前の児童1人につき同伴の保護者1人、妊婦、被爆者保健手帳所持者となっています。ただ、介護保険の認定はなくて、高齢者・障害者用は、「あったかあど」をお持ちである方なっているようです。続いて、東郷町は、障害者と付き添い1人、中学生以下、65歳以上が無料となっています。最後に、みよし市は、未就学児と介助者が無料となっています。

以上で説明を終わります。

会長

まず、バスに影響するような状況の変化をお話いただきまして、利用者数としては横這いもしくは減少という、少し厳しい状況にあります。収入に関しては増加傾向という報告でした。それから、近隣市町で動きが起こってきているという話でありました。

何かご意見・ご質問はありましたらいただきたいと思います。

委員

乗り継ぎ券で100円割引というのはどういう意味ですか。

事務局

7コースは100円なので、実質乗り継ぎは無料ということになります。ただし、中央線が200円なので、中央線に乗り継ぐ場合は100円で乗れるということで、100円割引という表現をしています。

委員

利用者数が減っているということですが、その中に無料対象者は含まれますか。また、収入が増えるというのは、有料の方と無料の方の割合が変わった影響なのですか。

事務局

利用者数は、運転士が各バス停で降車数を見ているもので、無料対象者も含まれます。また、利用実態調査の結果から、非高齢者の構成率が増えて、高齢者が若干下がっていることが分かっています。もちろん、高齢者も有料なのですが、高齢者には一ヶ月1,000円の定期券がありますので、そういったことが影響しているのではないかと理解をしています。

会長

実際には、利用者が減って収入が増えているという現象を明確に解明できているわけではありません。ほんの数日間の調査結果から推測するに、高頻度で利用されていた高齢者の方から敬遠されてきているという、ちょっとさみしい状況になっています。もしその辺、市民の方で利用されている感想などお聞きできればと思います。

委員

では、運行日について、みよし市のように年末年始もやってほしいと思います。大型スーパーもできたということで、今は年末年始も早くからやっています。バスに乗れない6日間を、車が無い高齢者がどうされているか調べたことがありますか。

事務局

直接調査はしていません。ただ、一ヶ月1,000円の高齢者定期券の販売実績をみると、この時期は少ないことがわかっています。利用はしたいのだけれど、という方も多いと推測されます。

会長

これは私も気になっているところです。昔は、年末年始には家族が帰ってきて一緒に出かけるものだったのですが、今はお年寄りだけの世帯を公共交通が支えなくてはいけない時代になったと思います。とくに、早くから開いているスーパーに行けないのはまずいと思います。ぜひ検討していきたいと思います。

委員

大いに期待しております。

会長

事務局から、実現に向けて何かありますか。

事務局

利用者からそういう声を多くいただいています。見直しの時期に合わせて、できることであればやっていきたいと思います。

会長

因みに、年末年始運行してはいけないルールは無いんですよ。日曜日も走りますので、役所が休みだから走ってない、運行はだめということではないんですよ。

事務局

おそらく、一番初めの始まりが「公共施設巡回バス」という形でしたので、今考えるとそういった経緯があつてのことかと思います。

委員

今は市民の足となっているわけですから。私事ですけど、夫も自分も高齢者の仲間入りをして、昔は夫がいれば買い物に行けたんですけど、数年前からそういうことが出来なくなったもので、すごく不便をしています。それから、日進市内の友達のところにも、お正月の挨拶をと思っても足が無い。近くにしか初詣に行けないし、友達とも電話くらいしか出来ない。ぜひ、実現は前に進めていただきたいというのが私の思い

です。

会長

私からも要望したいと思います。よろしく申し上げます。

その他よろしいですか。

では、続きまして（３）現在の運行状況の点検・評価について、及び（４）個別課題の対応について、一緒をお願いいたします。

事務局

（３）現在の運行状況の点検・評価について、ということでご説明します。点検・評価は、平成21年度に検討、作成した手順に基づき、くるりんばすの運行目的や見直し案の達成度等の運行評価を踏まえ、行うものとする、としています。今年度は、実施した改変の評価を踏まえ、見直しの方向性を整理するものとし、平成24年度以降に具体的な案の検討を行うものとする、とさせていただいています。見直しの基本的な考え方は、改編を検討していた平成20年度において次のように整理されています。まず、短期的視点からの評価ということで、視点1「平成21年4月に実施した見直しのねらいは達成できているか」とあります。その中に、バスの機能分担とネットワークの形成、とあり、これは、「くるりんばす」の利便性の向上を検討します、と、バス基幹軸を構築します、となっています。次に、現在の利用者の利便性を向上させるとともに、新たな利用者を発掘、とあり、これは、利用者の満足度評価を受け、現状の「くるりんばす」を基本とし、更なるサービス向上を検討します、と、利用者ニーズ及び需要特性を反映し、運行の拡充を図ります、となっています。一方、長期的な視点からの評価ということで、視点2「鉄道や路線バスを含む公共交通ネットワークの中で、くるりんばすが果たすべき役割は達成できているか」があります。つまり、公共交通空白地域の解消を基本としつつ、利用者ニーズに応じたサービスの提供を図ることとなります。以上が、見直しの基本的な考え方でございます。

具体的な評価基準及び評価指標についてご説明します。まず、目的の達成度について、バス利用カバー率が変更前以上か、バス利用頻度で週1回以上の利用者が対変更前以上か、となっています。利用者の増加について、利用者数が対変更前以上か、運行方向を変更した便の1便当たり平均利用者数が対変更前以上か、バス停別利用者数が1週間に1人以上か、コース別の逸走率が6%以下か、となっています。満足度の向上について、コース別の総合評価満足度が対変更前以上で不満足度が対変更前以下、コース別の循環形態満足度が対変更前以上、コース別の定時性満足度が対変更前以上で不満足度が対変更前以下、となっています。乗り継ぎ利便性の向上について、コース別の乗り継ぎ利用率が対変更前以上、とありますが、これは乗り継ぎ券の発行枚数でしか見られないので、市役所バス停のみでの発行している現在と単純に比較は難しいですが、お示ししています。最後に、収益率の向上について、コース別の料金収入が対変更前以上、とあります。

以上の基準を受けまして、評価について申し上げます。公共交通の空白地は解消されたかということですが、人口カバー率が8パーセント、可住地面積カバー率が9.2パーセント、バス利用圏域面積カバー率が4.2パーセント増加しています。バス利用の機会は増加したかということでは、東南コースを除き数パーセントの減、利用者は増加したかということでも、利用者数は横這いか、やや微減となっています。先生からもありましたように、利用実態が変わってきていると思われまます。次に、利用者ニーズに運行方向は合致しているかということですが、双方向運行を開始したコースのうち、南コースは対22年度比で増加しており、定着が見込まれるものの、他コ

ースでは微減となっています。次に、利用者の少ないバス停は存在していないかということですが、1週間に1人以下のバス停を申し上げますと、東コース「市役所東」、中コース「岩藤東」、東南コース「スポーツセンター」「市役所東」、南西コース「市役所東」となっています。「市役所東」と「スポーツセンター」につきましては、市役所出発直後のバス停となっております。続きまして、総合的な満足度と不満足度を見ていきますと、満足度は20年度比で減少するものの、22年度比では増加、一方、不満足度は減少傾向にあるということで、一定の評価は得られているのではないかということがうかがえます。双方向満足度については、4コースとも対21年度比で増加しているものの、対22年度比では北コースを除く3コースで減少しており、コースごとにばらつきがあります。続きまして、定時性に対する満足度ですが、中コースを除いて向上しております。乗り継ぎ券の利用回数は、先ほどお話したとおりで、20年度比では減少しますが、22年度比では減少幅が小さくなっており、増加に転じたコースもあります。最後に、収入の増加ですが、全コースの対20年度比で1.34倍、22年度比で1.02倍となっています。ここまでの、現在の運行状況の点検・評価となります。

次に、議事(4)個別課題への対応について説明します。わかりにくさの解消や安全対策など個別の課題に対しては、運行開始直後から随時対応を実施してきており、今回、平成23年4月から現在までの主な対応について説明します。まず、平成23年4月1日から、ICカード乗車券マナカでの運賃支払いが開始しました。マナカ導入後の月別収入状況では、定期以外の収入におけるマナカ構成率が、4月で約33パーセントでしたが、12月では約43パーセントと約10パーセントと、マナカ利用者の増加が見てとれます。

次に、昨年度に運転免許自主返納支援事業としてご案内させていただいたものになりますが、今年度はPRということで、高齢者の交通安全教室においてチラシを配布しました。結果としまして、6月15日から1月25日まで、計30回開催し、約840名の方にご参加いただきました。制度についてご説明しますと、対象者は、(1)日進市の住民基本台帳に記載されている70歳以上の方、(2)有効期限内の全ての運転免許を自主返納された方、(3)写真付住民基本台帳カードを保有していない方、となっております。支援内容は、(1)写真付住民基本台帳カードを無料交付するとともに、(2)くるりんばす無料パスカード、これは交付日から3ヶ月間有効のものです。と交通安全の啓発品を贈呈しています。その今年度1月25日までの実績ですが、31名の方が利用されました。近隣自治体の実績も参考までに、名古屋市緑区の徳重支所で20名、みよし市で6名となっています。なお、名古屋市、みよし市では写真付住民基本台帳カードの無料交付のみと聞いています。

続いて、くるりんばすのペーパークラフトについて報告します。くるりんばすのPRと利用促進のため、にっしん市民まつりにあわせて作成しました。市内の公共施設や、交通安全啓発キャンペーン等でも配布しています。小型車両は北コースで作っており、約5,100枚、中型車両は南コースで約5,500枚を配布しています。こちらは、愛知県が出している、「あいちエコモビメールニュース 第38号」にも掲載されています。

続いて、バス停の照明です。路線バスの名鉄バスで使われているものと全く同じものを、赤池駅、日進駅、米野木駅、長久手古戦場駅、市役所の計5ヶ所にバス停照明を設置しました。

次に、バス車内に各コースの路線イメージ図を貼り付けました。より簡単で分かりやすいものを、ということで、職員が自主作成しました。資料には西コースを載せてありますが、中央線を含めて8コースを作成しています。外国の方にも分かりやすい

ように、ローマ字表記も付けています。

最後に、今年の1月16日から、くるりんばす高齢者定期券を、市役所の東隣にある「にぎわい交流館」の窓口で販売をしています。これは、運行事業者である名鉄バスがにぎわい交流館の指定管理者と委託契約を結ぶ形で実現しました。以上で説明を終わります。

会長

数字が多くて難しいかと思いますが、色分けで青色のものが良くて、赤色のものが厳しい、ということです。ざっと見て、利用実態は厳しくて、利用者意識は良さそうかなと思います。コース毎に見てもらいますと、赤が多いコースはまずくて、青が多いコースは利用者に満足いただいているんだなということになります。また、それとは別に、個別に対応してきている内容についてもご報告があったかと思います。

何でもかまいません、ご質問やご意見がございましたらいただきたいと思います。

委員

中コースの利用実態で赤色が多いのは、中央線ができた影響が大きいのでしょうか。

事務局

もちろん中央線もあるかと思いますが、中コースは双方向運行をやっていますので、その影響もあるかと思います。

会長

どのコースにも中央線に流れた利用者がいますので、単純に数だけの評価は難しいかと思います。一方で、利用者意識のほうも中コースが良くないです。これは間違いなく大きな問題です。中コースは1便ごとに双方向を運行していますが、中コースには香久山や竹の山のショッピングセンターがあり、ご高齢の方が買い物のため利用されています。これと上手く合っていなかったのかと思います。今後、改善等をしていこうかと思っています。

事務局

中コースは、先ほど会長からもありましたように、利用者意識で定時性の満足度が良くないのですが。実際に遅延を起こすことが多くあり、その影響もあるかと考えています。

委員

確認ですけど、自主返納支援事業の対象者に（3）写真付住民基本台帳カードを保有していない方、とありますが、これは免許証を返納しても、既にこのカードを持っていたら、支援を受けられないということですか。

事務局

既に写真付住基カードをお持ちの方は、支援内容（2）くるりんばす無料パスカード、と交通安全の啓発品のみとなります。また、失効した免許証をもってみえる方もあるのですが、あくまで自主返納したものに限りさせていただきます。

会長

因みに、どのように周知されているのですが。

事務局

これは手作りで両面刷りのチラシを作っています。これは平針の試験場や警察署でも周知させていただいていますし、チラシを見れば、既に写真付住基カードを持っていても、自分が対象になることが分かるものになっています。

会長

これはもっともっと広まればいいなと思います。他市町、他県をみますと、もっとたくさん特典を、例えば、美術館の無料券をつけていたり、場合によっては預金の金利が上がったりするところもあります。一方で、日進は車が無かったら生活できない地域がまだまだありますので、バスの充実も課題かと思います。

委員

収支の状況についてご説明いただきたいかと思います。また、マナカについて他に分かっていることはありますか。

事務局

今年度はまだ終わっていないので、22年度について申し上げます。運行経費が170,728千円、運賃収入が36,331千円、運行負担金134,397千円となっています。受益者負担率は約21パーセントです。

マナカについて、アンケート結果では、71.8パーセントの方が「持っている」とお答えいただいています。また、マナカを利用する場所ということでは、一位が名古屋市の地下鉄、その次にくるりんばす、名鉄バス、名鉄電車、名古屋の市バスという順番になっています。加えて、私どもがバスに乗り込んで見ていると、高齢者の方が小銭を出すのが大変だということで、想像以上にマナカを購入されて、利用されています。導入開始から現在もバス車内でマナカを売っていますので、そういうことも影響したのかと思います。

委員

くるりんばすには公共事業として投資をするわけですが、子孫の代まで赤字を残すこととなります。どこまでのものならお金を使うにふさわしい事業になるのかということが重要かと思います。1台のバスで双方向にした結果、2時間に1本になったところもあります。バス停を増やしたことで毎時何分にバスが来る、ということでもなくなったところもあります。また、運行時間を拡大して、人が殆ど乗っていない時間帯もできました。どこで線引きをするかが難しいところですが、今後もっときめ細かくやっていかなくてはと思います。要するに、なるべくお金をかけずに、良く乗ってもらう方法は無いかと常々考えております。

会長

いろいろ努力はしたが乗ってもらえていないところもあるので、もっときめ細やかにということでした。あと、お金のことですが、市として現在の支出状況をいかがお考えでしょうか。

事務局

これは、1億3000万ほど使っているということですが、21年に双方向にする前は約9500万くらいでした。中央線を走らせたということや、運行時間の延長な

どで、お金がかかるようになったということです。実際には議会でも負担額の問題が出ていまして、これ以上の負担をしていくのは現在のところでは厳しいと判断しております。バスの台数を増やして利便性を図るというようなことは考えていないということです。細やかなサービスに関しては、今出来ること、運行に直接関わらないようなところですけど、できるだけ皆様に乗っていただけるような工夫をさせていただいております。資料には載せていませんが、名古屋市交通局に申し入れて、赤池駅構内の普通の案内板に、くるりんばすがありますよと、案内を付けてもらうことも進めています。また、受益者負担に関しては決めがあり、このサービスでは一乗車100円が適当だろう、ということでそうなっていますが、負担率が変わってくれば、すぐには出来ませんが見直すこともあるかと思えます。

会長

支出に関しては日進に限らず大変厳しい状況です。お金で解決するのではなく、我々のアイデア、知恵を使って解決していく問題だろうということだと思います。そのための会議だと思います。また、いくらいいサービスを作っても、それで良いというものではありません。例えば、これまで車に乗ってみえた方が、いざバスを使い始めれば、やはり待たなくてはいけない、座れないときもあるという不便がでてきます。ですので、バスにどんどん乗りたくなるような、移ってきてもらえるような工夫をしていかないといけないと思います。

委員

公共施設巡回バスであった当時は起発着が市民会館でありました。これは公共施設巡回バスの性質から、市民会館ではイベントがたくさんあって便利だからというのがありました。一度乗っていただいて、便利だとなればリピーターになってもらえるという狙いがあったかと思えます。それからいろいろあって市役所が発着点となったわけではありますが、バスの時間に合わせてイベント等を開催して欲しいと思います。ただ、残念ながら、コースがいろいろありますので、市民会館に着く時間、出発する時間がコースによって随分違うんですね。ですので、今後の見直しの中で、利用頻度の高い方にもっと乗ってもらえるように起発着を考えるのも手かなと思います。

それから、先生がおっしゃられたようにマイカーに乗っていらっしゃる方は、くるりんばすに乗っていない。ですので、自主返納支援事業で31名というのは、相当頑張られたなと思います。この方々はきっとこれからもバスを使っていただけだと思います。こういった地道な取り組みを行政側が展開していかなくてはと思います。ペーパークラフトをやるのも面白いかなと思います。実は、最初は名鉄バスの車両でやっていたので、みんな名鉄バスが走っていると思っていて、それで名前もくるりんばすに変えたり、デザイン化したりした経緯がございます。こういった大胆な仕掛けも必要かなと思います。

会長

次に向けてのアイデアということでしたかと思えます。事務局、いかがですか。

事務局

起発着の問題はいろいろ考えておりました、実は東郷町が起発着を同じ場所でやっておりましたが、今度の改編で一緒ではなくなりました。これは住民の方々が自ら、選ばれたということです。日進市の場合、乗り継ぎでどこへでもいけますというのが

売りでやっていますが、それだけではありませんので、両面を考えなくてはと思います。

委員

私の場合、名古屋に行くときはくるりんばすということにしています。赤池までバスですぐ出られますので、駐車場のこともありますし、非常に便利です。近くの友達にも勧めているのですが、市外にでるときはゆっくり遊んで来られるくるりんばすで、というような宣伝もいいのではないかと思います。

委員

私もくるりんばすが走るまえからずっと見てきており、着実に発展してきておるのですが、双方向運行を始めて時刻表が非常に分かりにくくなったとおもいます。数字が複雑になると、高齢者にとっては大きな障害になります。若い方には分からないかもしれませんが、私はこれが一番大きな問題だとおもっています。中には、以前のダイヤに戻してくれというような声もあります。もちろん、逆回りを始めた利点もありますので、単純に戻すことはどうかとも思いますが、じっくり検討すべき問題とおもっています。それからもうひとつ、違う問題ですが、近くに東山グランドというのがあるんですね。立派な施設で、休日は多くの人々が来るのですが、皆自家用車で来ます。すぐ近くにバス停があるので、車で来る人はバス停があることを知らないんですね。ですので、公共施設とかの立地状況のところで、スポーツ施設も入れたものを、人の目に付くところに置くとか、スポーツチームのリーダーに置くなどしてもいいのではないのでしょうか。これは、路上駐車の問題もありますので、ぜひ、そういうことも考えていただきたいと思います。

会長

名古屋に行くときはくるりんばす、とか、スポーツにはくるりんばす、というように、何かとセットというのは大変良いと思います。くるりんばすを利用してもらえる機会をみつけて、つなげていくのが大変重要だと思います。それから、分かり易さに関しては、本当にそのとおりです。良くなってきてはいるのですが、まだまだです。時刻表に関してもいろいろと間違いがあります。これは数字が誤りとかそういうのではなくて、見られた方がよく間違えられることで、これは我々の責任ですので、直していければなと思います。事務局、今いただいたご意見を今後の改善策として、いかがですか。

事務局

先ほどご説明させていただいたとおり、平成24年度以降に本格的な見直しを行うということで、なるべく早い時期に、皆様のご意見を踏まえていろいろご提案させていただくことになるかと思えます。よろしく願いいたします。

委員

資料の作り方のお願いです。利用者数など4月から12月までで出してあるのですが、ぜひコースごとに詳しく分かるように出していただくとありがたいなと思います。さらに申し上げると、くるりんばすは年間50万人程度の方がご利用いただいている中で、財政的には厳しいということで、コース毎、区間毎、時間帯毎に見ていくことも重要なことだと思います。コースが沢山あって見やすく作るのは大変かと思いますがよろしく願いします。それから、要望とか意見があったというお話もあったと思

いますので、そういった内容についてもまとめていただけたらと思います。

会長

データを用意するだけでなく、どうやって見せるかも非常に重要ですのでよろしくお願いいたします。そのほか、いかがですか。

委員

以前、路線バスの名商大線の廃止についてご意見は何か聞いていませんか。くるりんばすでどの程度補完できているのですか。

委員

くるりんばすでそこまでは出来ていないのですが、あまり強く言ってこられた方はみえないかなと。また、名商大からは独自にシャトルバスを赤池駅から運行するようになったので、大学までの利便性は高くなったというふうに思います。

会長

他によろしいでしょうか。ありがとうございました。

次に、その他ということで、事務局からは2点お願いいたします。

事務局

それでは、東郷町じゅんかい君の改編と、幹線バス星ヶ丘・豊田線の新設について、あわせてご報告させていただきます。これらについての当市、日進市地域公共交通会議の取り扱いについてですが、担当課を通じて中部運輸局へ確認をさせていただいたところ、東郷町の地域公共交通会議に当市生活安全課長が委員として参画しており、その会議において、合意していることから、日進市の地域公共交通会議では報告で足りる、とのことです。資料は東郷町からご提供いただいておりますので、私から説明をさせていただきます。

東郷町ではここ3年間の間に路線バスが廃止になるなど、いろいろなことがありました。そのなかで、じゅんかい君と幹線バスを23、24年度中に運行するということです。まず、じゅんかい君ですが、従来の北コースに加え、南北コースがちょっと細い道を通るのですが、日進駅に入ってくることとなります。この路線が平成24年7月から運行開始ということですが、また、これまでも入っていましたが米野木駅にも入ることをお知らせいたします。次に、幹線バスですが、新設路線ということで赤池駅からみよし市内にありますイオン三好店を結ぶものになります。平成24年2月20日に運行開始ということですが、このように、じゅんかい君と基幹バスであわせてやっていくこととなります。以上です。

会長

東郷町のバスの運行に関して、日進市に乗り入れるということでございまして、合意が必要なのですが、生活安全課長が委員として出ておられて、その上で合意ということになります。

何かございますか。

因みに、この南北コースなのですが、日進市の側にバス停を置く可能性は無かったのでしょうか。

事務局

日進駅に乗り入れるということでお話させていただいております。

会長

駅まですぐに歩ける距離かもしれませんが、市からバス停の設置を要望することも、ひとつの連携を深めることであるかと思したので、申し上げました。

それでは、次に移る前に、委員の皆様からその他、報告などございますか。

委員

運輸局です。参考までに地域公共交通確保維持改善事業について資料を提供させていただきました。平成24年度についても23年度と同様の内容で支援をさせていただく予定です。運行費の支援でありますとか、バリアフリー、ほか公共交通を運行していくための調査があります。

事務局

運行費の支援として、地域間幹線の補助事業に手を挙げているところでございまして、内示をいただいております。今後ともよろしく願いいたします。

会長

最後に、せっかくの機会ですので、私の研究室の学生グループである「リニモのがたり」から発表させていただきたいと思います。リニモ沿線の地域づくり活動促進ということで、くるりんばすの活用も考えておりますので、お聞きいただいて、ご協力いただければと思います。

リニモのがたり発表

地域の魅力を発掘ということで、北コースと中央線の沿線を歩いて回りました。地域の店舗へ実際に行ってもらうことで活性化を図ろうというものです。マップを作成しているのですが、ポイントが3つあり、長久手市と日進市の情報が一緒に載っていること、公共交通と地域の店の情報が載っていること、学生が発見した情報が載っていることです。スタンプカードも配布しており、リニモに乗って、ご協力いただいているお店に行ってくださいと、クッキーがもらえたり、割引が受けられたりします。

ホームページには次の機能があります。まず、北コースと中央線の路線と時刻表を表示することができます。また、地図上では、お店の位置と詳細な情報、公共交通を使っての行き方を表示することが出来ます。さらに、クチコミ情報機能として、マップを使っていただいた方が、誰でも情報を書き込むことが出来ます。ぜひ一度ご覧になってください。以上で発表を終わります。

会長

今日も皆様方のご協力をいただきまして、無事、議事を進めることができました。ありがとうございました。それでは、進行を事務局へお返しいたします。

事務局

一点だけ、ご案内させていただきます。くるりんばすでは毎年1回、松本会長の研究室に大学への受託研究として、利用実態と利用者意識に関する調査研究をしていただいております。この研究によって得られた成果は本日のような地域公共交通会議において活用して、くるりんばすの改善にとって、貴重な情報となっております。

本年度も去る平成23年11月10日（木）、16日（水）及び17日（木）に全

11便の調査を行っていただきました。それに加え、今年は新たに10月29日(土)の10・11便(中央線は17~20便)、30日(日)の全便、と土日の調査も行いました。これら調査結果の報告と、同時に実施したアンケート結果の報告、並びに調査を実施した学生と利用者や市民の皆さん等とお互いの理解をより深めるため、報告及び意見交換会を開催します。日時は平成24年3月13日(火)の午後1時30分開始で、場所は日進市立図書館の視聴覚ホールです。3月1日号広報にも掲載される予定です。委員の皆様もお時間が許しましたらぜひご参加くださいますようお願いいたします。

これで本日の会議を終了します。お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。

<午後4時 閉会>